



荒木 俊彦議員



耐久年数をすぎた立石住宅

①立石住宅の移転が始まるが、低所得者にとって家賃の高騰は、生きる権利に関わる問題であり、生活保護基準の1・5倍くらいまで減免措置が必要ではないか。

②室住宅の耐久度は限界であり、入居者の生命と安全に関わる。

高齢になった入居者に

よその住宅に移れというのも酷である。室地区住民の皆さんが待ち望んでおられる集会所建設と合わせて、低家賃で入れる

住宅を現在地に建設して、入居者の安心を図るべきではないか。

家入町長

①立石団地は99世帯であり、現在の家賃は約5300円である。建替えに伴い、新家賃は1万7300円(2LDK)と、2

万4000円(2LDK)ほどになり、大変な負担になるのは確かであり、減免措置を考えたい。生活保護基準の月収8万8千円の1・5倍という基準についても検討する。

②ご指摘のように、室住宅は老朽化が進んで、台風等が来れば大きな被害を受ける可能性がある。もし建替えるとなると、

移転したりなどの負担が考えられる。

入居者の皆さんと相談しながら、その地域の東側の方にも、補修をしながら、台風被害等に耐えるようなことを考えてい。

家入町長

企業団は、確かに本年度で3億円近くの利益があがっている。

企業団経営の中で、自然的な災害等の問題が起きた場合には、両町とも話し合いながら財政を繰り入れていく。

水道事業は大切な福祉事業なのに、われわれの税金が一円も使われないのは、町民の福祉に反することではないか。

町長／制度を検討する

住宅家賃の減免を

町政を問う

一般質問
10議員

大津小の大規模校解消を

教育長／全町的に検討する

大津小の児童数はますます増える傾向にある。本田技研関連の労働者を受け入れるためにも美咲野を中心とした住宅増加

は当然であると思う。町づくりの観点からも大津小の分離校建設を早急に具体化するべきではないか。

宮崎教育長

現在「大津町小中学校通学区域及び教育施設検討委員会」に、将来的に、理想的な学校配置を考えたい。全校区の見直しを諮問して19年度末までに答申

の予定である。

31学級以上になると過大規模解消を図る指導があるが、現在29学級であり、あと2、3年は大丈夫だと考えている。

水道料の値下げを

町長／菊陽町とも相談する



大津小の児童数は832名

町営住宅の今後を問う

町長／入居者の方向性で



新開 則明議員

円位が加算されている。建替えについては、6年間の間の傾斜家賃となっている。今後入居される方々の方向をしっかりと見極めて住宅行政に取り組んで行く。

今後、町営住宅の総世帯数の増・減の見直しを考えられるのか。改修や建替えにともなう家賃の変化はどう考慮しているのか。又、建築年数が古い住宅については災害等の危険性も心配されているが、どう対処してくのか。

家入町長

大体850戸が適当であると思う。町の住宅関連等の調査をしながら今後の住宅の計画方針を見直していく。改修をやった時は700円か800

行政区割と

通学校区割を問う

教育長／答申を大事に町長／地元相談して

行政区割と通学校区割を、総合的に判断して、見直しの方針が必要ではないか。500世帯の水準に達する区が増えつつあるが区の分割が考えられるのではないか。又、行政区割に入っていない地域があるが、今後どのように対処してくのか。

宮崎教育長

全校区見直し部会の方では、出生者数とか就学未満児の推移・企業の進出状況・宅地開発状況等が把握されている。混雑地区の見直しは平成19年度8月を目処に、全校区の見直しは来年3月を目処に検討委員会にお願い



完成間近い上鶴団地

している。その答申を大事にしながら対応を検討していきたい。

家入町長

500戸以上の世帯も多くなっている。行革絡みも考え再度検討しなくてはならないと思う。区画外の世帯については、どのような行政区の中で取り入れていくか関係区長とも相談していく。

参勤交代道を活かせ

教育長／案内板の設置町長／時間が必要

宮崎教育長

前期計画では説明板12基・石碑1基を計画したい。町の歴史的建造物の再現についても、検討していきたい。

家入町長

上大津・實戸口（すどぐち）までは全体の計画の中の一つとして取り入れていかななくてはならないと思う。



上大津に至る参勤交代道



永田 和彦議員

平成19年度施政方針 について

町長／出生率アップは期待できる

前年度より12億円予算総額を増やし、各分野に新たな施策が盛り込まれているが、子育て支援策は予算を膨らませた負担軽減策で、出生率の増加につながると思えない。また、企業誘致をもって

農工商併進のまちづくりというならば、他の自治体より優れた独自誘致策が必要である。また、まちづくりのリーダーとなるよう、職員研修費を増やし、計画的な人材育成を図るというのも逆で、独学し努力した職員を登用すべきであり、研修で本来の仕事から離れた分、不足した人件費が必要となる。12億円は3万人で割ると、一人当たり4万円であることを肝に銘じなければならない。

家入町長

増額予算の内容は駅前・中心市街地整備関連のまちづくり交付金事業と福祉、教育、道路関連等の予算も含まれている。出生率について率はアップした福井県では、女性の就業率や正規職員の割合、労働時間が全国ではトップクラスであり、共働きの割合も高い。子育ての経済的負担の軽減を行えば、出生率の増加につながると思う。

今後、保育料や乳幼児医療費、私立幼稚園費の

入園料の負担の軽減により、更なるアップが期待できる。

企業の独自誘致政策について県内の新たな増設立地協定は39件、うち大津町は9件。

「大津町企業連絡協議会」が企業誘致の大きな柱となっている。

職員研修は、職員が自らの能力を絶えず向上させていくことが必要であり、研修はその機会を与え、意識改革と資質の向上に寄与すると思う。



大津町役場庁舎



環境クリーンセンター

広域行政組合について

町長／情報公開体制は整っている

人吉球磨広域行政組合で、また、逮捕者が出た。町が参加する組合も独自の予算や議会を持つ自治体に準ずる存在であるが、不正なきよう経営を監視するシステムは万全だろうか。水道料金やごみ処理費が公共料金という性質を考えると、

家入町長

広域行政組合として菊池広域連合、水道企業団環境保全組合、矢護川簡易水道組合があるが、情報公開条例を設定して、情報公開の体制は整っていると思う。

東部焼却場は2、3年前から建てかえ等の問題が出ている。長く使ったため、ごみの分別関係で職員、住民の皆さんが一生懸命やっていた。大津町は、2市2町の中でごみの減量が目に見えてきている。

農業生産基盤の 確立について

町長／推進の同意を得たい



手嶋 靖隆議員



中島からのぞむ水田

迫井手地区は昭和28年の白川災害の復旧事業で土地改良事業が行われている。しかし道路・水路等については改修の時期がきている。圃場整備事業であれば国50%・県が30%・町13%・受益者7%で個人負担1反当り14万円である。また北部台地みたいな非農用地方式

家入町長

農業経営安定のため生産基盤の拡充と規模拡大が必要である。北部地区畑総合整備事業をはじめ大津地区、錦野地区は圃場整備が完了している。計画から5年も経過している迫井手地区の整備事業が待たれている。原因の究明と、部分的に着手した場合効果が得られるのか。

で負担軽減の具体的な政策を示しながら推進の同

意を得ていきたい。

道路網の整備が急務

町長／十分検討して造る



都市計画道路

環境整備の中で重視されるのは道路整備である。すでに認定道路でありながらいつ施工されるか優先順位等不透明で、住民の期待に反するものがある。特に企業誘致を積極的に行うには道路網の整備は急務である。県道の整備の遅れの要因は何か。

家入町長

現在402本の町道認定道路があるが、昨年の総合計画の中で各地域より要望をあげていただいている。

予算の中で新設・改良等を20路線整備する年間目標を立てている。交通体系の中で十分検討しながら造る。

関東・関西の本町出身者との交流が必要

町長／将来に向けて検討

以前、金融経済の集積地である関東・関西の本町出身者との交流がなされていた。近年は財政を考慮してか交流が希薄となり、中核都市の情報に欠如しているのではない。積極的に企業誘致の促進並びに地産地消とともにブランドとなる物産のPRに、生きた情報収集は行政の事業展開に必要な要件と思うが、再度取り組む考えはないか。

家入町長

県外居住の本町出身者との交流会というか、情報交換会は、「ふるさと大津会」ということで4年度の初回から11年度まで毎年、関東・関西地区で相互で開催。その後2年に1度となり13年度が最後である。当初の計画では、その地域でしっかりと取り組まれて、情報交換をする目的であった。今後については状況を判断しながら将来に向けて検討する。

現在、熊本県人会が両地区でいろいろな協議会を開催されている。そこに大津町特産品のPRの目的で甘藷を提供している。



月尾純一郎議員

もし大河ドラマ「加藤清正」が実現すれば、大津町が繰り返し全国的に紹介され、熊本城とともに多くの人が大津町を訪れる。



加藤清正公像

「加藤清正」を NHK大河ドラマに！

町長／要望があれば実現に向けて
動きたい

家入町長

加藤清正公の功績については、本当に素晴らしい方であり、大津町は多大な恩恵を受けていると思っています。熊本城築城400年祭などを通じて、県民の高まりも予想される。県や熊本市の動向も考慮し、要望される場合は、実現に向けて一緒に考えて連携を取っていきたくと思っています。

町の宝・上井手を重要文化財として後世に残せ！

教育長／上井手は生きた教材
町長／文化的・歴史的要素を加味



上井手にかかる石橋

①上井手全流域を整備せよ ②上井手に流れ込む生活排水等の実態調査を急げ ③上井手流域を環境教育の場、歴史・文化学習の場として活用せよ。

宮崎教育長

上井手は町の宝。大津町の歴史は、その当時の時代背景や人々の生活を学習できる生きた教材であり、なかでも、上井手の学習は欠かせないものである。

家入町長

上井手の持つ、文化的要素、歴史的要素を加味し、県や土地改良区と協議しながら、平成19年から整備事業を計画している。19年は調査を行い、25年までを予定している。生活排水の流れ等については、下水道関連等の整備が進み、水質の改善がなされている。今後生活排水の流入等の調査を行いながら、水質の維持改善をするよう排水対策や整備にも取り組んでいきたい。

スポーツの森に 町営の野球場を！

町長／子ども達に夢と希望を与えたい

家入町長

町営の野球場ができれば運動公園の総合化が一気に進み、駅も必要になる。都市対抗野球とか日本選手権など本田技研をはじめ社会人野球関係の方々は、大津町での建設を望んでおられる様である。年間を通しての利用も見込めるし、多くの方々に大津町に来てもらえる子ども達の夢を育むことにもなつて本田技研がますます元気で、条件が揃えば、そういう検討もしていきたいと思う。

公的窓口で活字文書読み上げ装置の設置を！

町長／相談コーナーの窓口を設置

家入町長

大津町では、相談支援事業の窓口を設置し、コミュニケーションを図るとともに、手話通訳員の配置、あるいは窓口業務の充実を図っていく。障害者の一人ひとりのために、できるものについて

はしっかりとやっていきたい。「活字文書読み上げ装置」もこのなかで取り組んでいく。また、議会広報とか町の広報とかの音声訳をしていただいているボランティアグループの皆さんとも十分相談をしていきたい。



真剣に研修を受ける役場職員

夢と情熱を持った職員 (職員の育て方)

町長／派遣、町民との交わり、人事
評価制度



坂本 典光議員

①学問的に優秀な職員は多いが、なによりも町を発展させよう、町民のために頑張ろうという夢と情熱を持つ人を育てるべきではないか。
②職員の視野を広げる施策を考えているか。

家入町長

①職員は住民に対する奉仕とか町づくりに使命感を持ってもらいたい。住民との協働、情報交換ができる人、そのような職員になってもらいたい。

できる人、やる気のある者を評価する人事評価制度を取り入れている。将来的には、町づくりの一員として町民の財産になる職員になっていくと思う。

②真面目な職員は案外その与えられた仕事だけに邁進しがちである。

「他人の飯を食ってこい」と県に派遣したり、地域アドバイザーとして地域の振興をする中で、地域の皆さんの話を聞いたりして職員の視野を広げていきたい。

狭い室町の生活道路

町長／対策考えている



離合に苦労する上井手ぞい道路

室町は歴史のある地域であるが、道幅が狭く、車の行き来に不便をきたしている。

何か対策を考えているか。

家入町長

家屋が建ち並び改良するには大変困難な地域である。

離合箇所を設ける。また上井手の上、下の道路は地域の皆さんと相談して一方通行にしてもよいと思う。下道も狭いので今対策を考えている。室地区内での計画とし

では、道路改良事業は、南出口老人ホーム線、塔ノ坂線、室新生通り線、桜町駅前線、下道1号線などである。

側溝整備事業としては、室住宅北線、東道免線などである。

その他の質問

人権教育について

大津町立北小学校 建設について

町長／検討委員会の意見を聞きながら



藤坂 重美議員

家入町長
学校検討委員会の意見を聞きながら、しっかりと

北小学校建設については4年前すでに新校舎建設が決定されて今日に至っており、町長の決断にかかっており、保護者・地域住民の思いを一日も早く実現を。



体育の授業中（大津北小）

と方向性を決めたいと考えている。造る方向で今から町全体の問題も十分地域の皆さんと検討していく。子どもの登下校の問題もあり財政的な中で検討しながら、交通機関を利用するかどうかの問題やそれに対する補助の問題、いろんな問題があるが、全体的に検討しながら19年度ではやはり確定をしていくことが必要であるというふうに自覚している。

北部地域 過疎対策について

町長／企業誘致は必要

本田技研の第二の夜明けを目前に北部地域に企業誘致の考えはないか。

家入町長

北部についての、前々からの過疎関係対策として、やはり企業は必要であるし、そのためには、あの自然の美しさ、矢護川地域の自然を環境の森というような形で、我々も自然を保護しながら進めておりますので、それを壊さないような企業関係で、誘致を今後努めていきたいと考えている。



整備された北部台地

道路行政について

町長／夢の橋、いつかは

北部地域発展に関して、大津矢護川線から平川橋、また菊池赤水線より護東間の道路整備について執行部の基本的考えを伺う。

家入町長

平川の谷に橋を架けることは、いつかは夢は実現できるのではないかと思います。やはり企業誘致関連と伴う中で、県と十分推進をしていかなければならない問題と思う。菊池赤水線の方も今、改良がなされ、いろんな計画と調査もあっている。

19年度で、矢護川地区や平川から町中部。また護川地区に関連する道路整備とか振興については、地域の意見を聞きながら取りまとめ、北部北小区域の振興計画を考えていく。



おいしい給食調理中
(給食センター)

教育行政について

教育長／前向きに検討



鈴木ムツヨ議員

①不登校児・生徒ゼロへの取り組みは。不登校生の割合が熊本県平均は3%で菊陽中学校は5%だったのを18年4月不登校対策委員会を発足、生徒の欠けに対する職員意識高揚を図り全体での取り組みを展開し、19年3月不登校生ゼロになる。大津町の初期の対策はどうなっているか。

②薬物乱用防止教育はどのように取り組まれているか。

③給食費の滞納は60%が保護者としての責任感や規範意識の問題で、33%が経済的な問題といわれています。大津町の滞納はどうなっているか。

④子ども議会(中学生)を取り入れたらどうか。

給食費(円)

	1食	月額	年間回数
小学生	209	3,500	184回
中学生	1・2年	240	183回
	3年	240 (1ヶ月のみ) 1,600 4,000	173回

し前向きに検討する。

②町の全小中学校で実施。薬物防止キャラバンカーによる講演と実験も体験。現実的課題でもあり推進していく。

③滞納は61万6千円

経済的に支払いが困難な方には就学援助の申請をされた方もおられる。督促は各学校・給食センターで行った。

④中学校校長とも相談

宮崎教育長

①不登校対策は来年度に向けた重点課題として、大津中、大津北中への教育相談員の配置、適応指導教室(自立支援教室の新設)など人的、物的環境の充実と内容の充実を図り、不登校減少に向け頑張る。

携帯電話基地局について

町長／問い合わせ中

昨年12月、雇用促進住宅より北30メートル位置に地上40メートル高さの携帯電話FOMA基地局が建設された。

現在鉄塔は、NTTドコモが25基、KDDIが6基、ソフトバンクが8基で合計39基建設されている。また、新規参入のeモバイルもそのうちに大津町に来るかも知れない。

1基の電波の範囲は1・5キロ円周内である。広い範囲には使用できない。もっと増える可能性



雇用促進住宅と携帯鉄塔

雇用促進住宅を

町営住宅に

町長／買う予定はない

雇用能力開発機構が運営する雇用促進住宅を、今後15年かけて売却する。町営住宅の建替え時期がきているものもある。

大津町の2棟80戸は2・3年前に外壁の塗装がされ15年で売却されるので、町営住宅として購入するべきでは。

家入町長

町にも打診があり検討したが、住宅ストックの計画に基づいて850戸が適当と考え、今のところは買う予定はない。

がある。安心安全のまちづくりを進める上でどう対処するのか。

家入町長

鉄塔は大規模工作物ということで町に協議する必要がある。県に直接申請される。県では周辺地域の住民への説明会を行うよう指導している。

町は住民説明会をしていただき説明区域や周囲との判断を、町に協議したかを確認できるように連絡、調整機能ができないか問い合わせ中。

熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会とは何だったのか

町長／九州における基点都市の形成

熊本市を中心とした近隣14市町村で話し合い、研究されていたようだが、どのような話し合いをしたのか。また目的は何だったのか。

家人町長

九州新幹線が平成23年春、全線開業すると、福岡市はもちろん他の都市との競争が激しくなることが予想される。また道州制の導入論議など、国と地方の関係を見直す動きがある。将来を見据えた九州中央における基点

都市の形成が必要との意見もあり、幸山熊本市長の呼びかけで熊本市を中心とする4市11町村と県が参加して発足した。

政令指定都市については構成市町村長からの意見もあり、合併の話はないとの基本事項を確認の上研究を進めてきた。

今年2月、100万の人が躍動する九州中央の交流基点を基本理念とした基本計画が出来た。

研究会は終了したが、今後どのような形で取り組んでいくか決まってい。政令指定都市について周辺の市町村はまだ白紙である。大津町は、まずは自分のことが大事であり、しっかりした大津町を作っていく。



大田黒英生議員

町の名所、史跡、遺跡等の案内板の設置は充分か

教育長／検討したい



明日観の会員の皆様の努力で「大津歴史こぼれ話」という大津の歴史をひもとく素晴らしい本が発行され、多くの町民の皆様が読まれているようである。この本を読まれた皆様が現地へ行ってみたい、行つてはみたが案内板がないではあまりにも寂しい気がする。新たな案内板の設置の考えはないか。

大津町の史跡・遺跡を学校教育に取り入れる考えはないか

教育長／現在取り入れている。これからも推進する。

町には史跡、遺跡がある。この町で生まれ、育つ子どもたちにも、遠い祖先が築いてきた大津の歴史の流れをしっかりと自分の目で確かめるのも

宮崎教育長
本には65の話が載っており、その中で紹介された場所、現地説明などの案内板が設置してあるところが30箇所ほどある。町文化財保護委員さんの意見なども聞き、今後どうするか検討したい。

必要ではないか。社会科の授業として年1回程度の現地勉強の考えはないか。

宮崎教育長

現在大津町の小中学校では、それぞれの校区の歴史又は町の歴史を社会科や総合的な学習の時間で学習している。

大津小では、上井手や水車の起こり、大津街道杉並木など。

室小では地藏祭、光尊寺、足手荒神さん、銅銭糖の歴史など。

南小学校では、江藤家住宅に訪問し、当時の生活の様子、歴史等を学んだり、第11代横綱不知火光右衛門の記念碑を頼りに、学習をしている。

中学校でも、梅の造花造りや史跡マップづくりを行っている。これからも積極的に推進していきたい。



藤森昭二朗議員

計画されている焼却場、 最終処分場について

町長／今の環境を後世に残すこと
が私達の使命

菊池環境保全組合で200億円前後かけてゴミ焼却場と最終処分場を平成29年度完成を目指している。地球環境の変化が私たちの身にも感じる現代、活用しただけでは、ゴミも宝の山、後世を生きる人々のためにも、水、

空気、地下に負担をかける最終処分場を目指してもいい。

家入町長

現在の地球温暖化を少しでも改善し、今の環境を後世に残すことが私たちの使命と考えている。



東部清掃工場（高尾野）

土の健康を守ろう

町長／農地・水資源の環境保全を図る

地球上のすべてのものは健康でなければならぬ。人間社会は、定期的に健康診断を受けられる。食物を育ててくれる土。愚痴、不満も言わない、人間が思うままに使える。化学肥料、農薬、化学物質、土はすべて無害にしきれものだろうか。大津の大地の地下には、私たちが飲む地下水がある。大地の土の健康を調査したと思う。

家入町長

平成17年度に決定された農地・水などの資源や環境の保全向上を図るため、地域全体の農家による、化学肥料や農薬の使用を大幅に低減するなどの取り組みを支援することになっている。



地下水保全のための水はり

コンサルタントによって算出された施設の規模や用地の面積によって、建設に対する様々な事項を確定する。各候補地については、各市町より提案をいただいた、その費

用対効果及び土地計画、環境への配慮等の観点から決定することになっている。19年度において一般廃棄物処理基本計画策定業務を委託する予定である。

具体的には、肥料散布や堆肥散布、稲わらなどの有機物の投入や、化学肥料や農薬の使用の5割以上低減などエコファーマーの認定農家を支援します。申請農家は必ず一箇以上の土壌分析診断結果を提出することになっている。

マリー認定農家を支援します。申請農家は必ず一箇以上の土壌分析診断結果を提出することになっている。

子どものしつけは 学校と家庭の連携を

教育長／幼・保・小・中連携して

社会に送り出す人間形成の場、学校と家庭がしっかり話し合い、先生が自信を持って勉強、社会に出てのマナーの教育ができる環境づくりを。

期に合った挨拶、服装、正しい言葉遣い、時間を守る、話の聞き方などを連携して指導できるように進めていきたいと考えている。

宮崎教育長

来年度初めの設立を目指し、大津町の子ども全体を考えた連携、いわゆる幼・保・小・中連絡協議会を立ち上げる予定である。その時、その成長時期に合った目標を設定し、指導体制の確立を目指すための準備をしている。幼・保・小・中学校では、基本的な生活習慣の確立を目指し、その時